

今こそ、ワクチンと一体に 大規模検査を!

9月議会が、10月4日閉会しました。日本共産党西宮市議員団から一般質問には野口あけみ、佐藤みち子両議員が立ちました。また、2020年度決算審査が行われ、党議員団は反対しましたが、新型コロナ対応などについて議論し、今後の取り組みや新年度予算に生かすため奮闘しました。

コロナ第4波までの感染者は圧倒的に高齢者でしたが、7月から9月にかけての第5波では、感染力が強いデルタ株により50代以下の感染者が急増しました。また、これまでかかりにくいとされた子どもたちにも感染が広がり、市内の保育所、学童保育、小中学校等でも多数発生しました。保健所では原則濃厚接触者しかPCR等検査をせず、その特定に時間と労力がかかっています。また、家庭内感染では、濃厚接触者でも検査は希望者のみとしました。党議員団は、感染が心配される人にはすべてPCR検査を実施せよと追及しました。

特に子どもの施設では、子ども同士の密を避けることができないため、濃厚接触者以外の検査、定期的な検査が必要です。市は、感染状況や調査の結果によって必要であると判断した場合は、濃厚接触者以外も検査をしているとしましたが、定期的な検査については、現在のところ予定していない、感染状況を注視し

今後の最新の知見に基づき検討すると答弁しました。政府のコロナ対応はワクチン頼みとなっていますが、迅速安全なワクチン接種とともに、大規模検査の実施は不可欠です。

2020年度決算は過去最高の黒字

2020年度一般会計の決算は、歳入の根幹となる市税収入が前年度に比べて増加。また、歳出では特別定額給付金やコロナ対策経費等の大幅な増加がありましたが、その財源の多くは国から交付があり、歳入から、歳出と翌年度に繰り越す事業費を差し引いた実質黒字は、47億3千万円と過去最高となりました。また、基金(貯金)の取り崩しも必要ななかったため、2020年度末の基金残高は213億円にも。コロナ禍で苦しむ市民のくらしを応援することは十分可能な財政状況といえます。

市に声を届けよう!

本気の温暖化対策を!

地球温暖化対策は待ったなしの状況です。この度西宮市は「第二次西宮市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」の見直しに伴い、パブリックコメント(10月26日~11月24日予定)を実施することになりました。これまでの市の取り組みを見る限り、温暖化対策に対する危機感はほとんど感じられません。連携中核都市である豊中市と吹田市は共同で気候非常事態宣言を発出したにも関わらず、西宮市は不参加。このままではいけません。

日本共産党は先日、「気候危機を打開する2030戦略」を発表しました。この戦略の実現へ、みなさんと力を合わせ奮闘します。



第2弾 西宮市独自 事業者向け支援金 実施!

2021年6月に西宮市独自事業として一律10万円の事業者向け支援金が給付されましたが、その第2弾が実施されます。個人は10万円ですが、前回とは違い、法人は20万円となります。また前回給付を受けた事業者は、簡単な手続きで給付対象となります。

詳細は10/25又は11/10号の市政ニュースで公表され、申請受付は、11月下旬~12月上旬頃になる見込みです。

ご相談はお気軽に 議員団控室 ☎0798-35-3368



佐藤みち子

●教育こども常任委員
●都市計画審議会委員

☎42-2856



野口あけみ

●幹事長
●議会運営委員
●健康福祉常任委員
●社会福祉審議会委員

☎34-7329



ひぐち光冬

●民生常任委員会
副委員長

☎090-7764-0743



まつお正秀

●団長
●総務常任委員会
副委員長

☎73-0775